

富士山 (-)

山々が連なっている

今日はすがすがしい秋晴れだ

しかも空のせいか、みだやかもある

丹沢の峰の流水を目撃した

富士よ、きみをもう一度確かめよ

きみよ、きみは相変らず

すっきりと下っている

くっきりと下っていることはないか

富士よ。

富士山。

きみを遠くに眺めながら

ぼくはひと呼吸入れ、思い切った

「死にたい」と言ったのだ

それからぼくの自殺願望について

あれこれと話した

わけもなく心が叫び

痛む心の音を聞いたのだ

耳に、ぼくの音が車輪のように軋んでいた

ぼくとぼくの音が行き来した

自我没入と自己客観視

そうして、自己を離れ、自己に戻ってきた

一年と前。

と前後、十数回にも及ぶゆえが

一年前のことだった

富士山。

きみはしばしば現れくれたね。

す、まりと、く、まりと
相変らざる素敵だ

こうして一年後に来こみ

かうス張りの治療室から
きみを眺めこいる

先生ほ、ぼくがきみを眺めながら

語りよを思に公すなかつた

自然と対話するこゑと

人と対話するこゑと

こゝろは、両者が一對の舞台はる間と
なつこゑあるあゝ

さうした舞台はる間を造つたあゝ

先生と、芸術の仲間なゝだから

ぼくは、きみや。

一対だ。

ぼくはきみと対話しながら、

先生とも対話したあゝある